

【 人と自然に優しい 】

環境改善洗剤

ジオクリーンシリーズ

(急速油脂分解洗浄剤)

商品説明書

《製造元》 JIPS合同会社

?



ジオクリーンはどんな洗剤なの？



ジオクリーンは、二次汚染防止洗剤です！
洗剤の安全度の見分け方の最優先は、『生分解度』と『pH値』です！

『ジオクリーン』の開発コンセプトは、

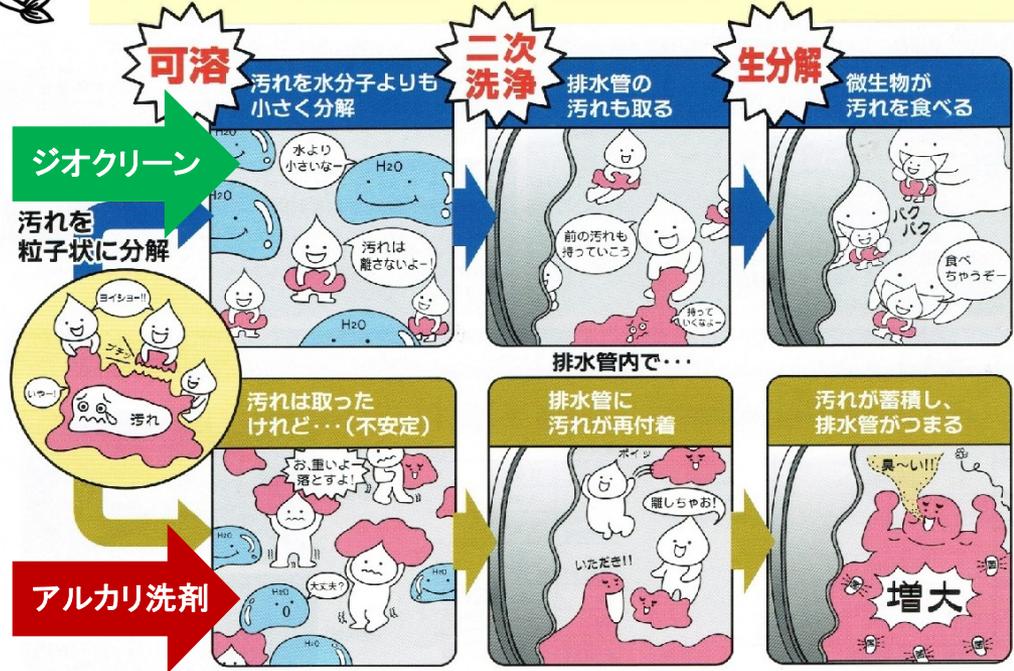
- ◇地球環境を改善する。
- 自然を守り、今以上の自然を次世代へ引き継ぐ。
- ◇川、海、湖を『油汚れ』から守る

『ジオクリーン』の特長は、

- ◇中性です。ph7.2~7.8です。
- 手にも優しく、天然成分主体の洗剤です。
- ◇希釈する水は選ばない。(水、温水、海水でもOK！)
- 界面活性剤が、非常に少ない。
- ◇生分解・100%です。

二次汚染とは、生活排水や工業排水によって河川や海が汚染されることを言います。

生分解度とは、有機物が微生物の働きにより無機物へ分解される割合(%)を示したものです。

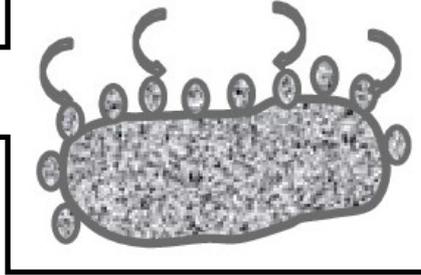


ジオクリーンと中和剤や一般のアルカリ洗剤との洗浄効果の違い

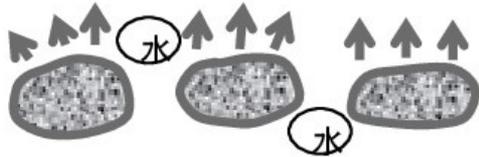
一般のアルカリ洗剤は…



油汚れに対し…

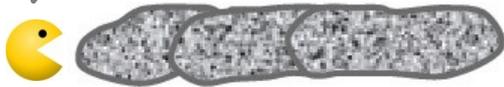


ジオクリーンは…



大きい塊のまま、はがして流れて行こうとするので、界面活性剤が**多量に必要**。でも、はがれた油汚れは、流れていく間に、いろんなところにくっつく。(再付着)

大きすぎて食べられないよ～



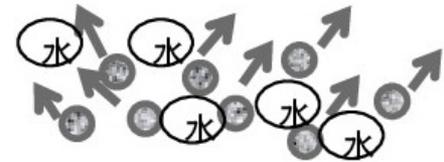
川や海や湖に流れついた油汚れは、底に沈み、界面活性剤の力がなくなるとヘドロ化してこれが、**二次汚染の原因**になる。

洗剤といっても、まったく違うんだ！知らなかった…

?



だから、安心して使えるんだ！



極めて少ない界面活性剤で、油汚れを分解して、流す。流れていく間に、水の力を借りて、二度と、くっつけない。



油汚れは、微生物が食べることができる大きさまで微細化され、洗浄に使うブラシなどに、**再付着することがない**。(生分解・100%、水と二酸化炭素になる)だから、**環境にも優しい**。

『ジオクリーン』って何？

- ◆油を超微粒子に加水分散する。
- ◆乳化剤(中和剤)ではない。
- ◆石油生成品ではなく、水系製品。
- ◆石油系のいやな臭いはしない。
- ◆生分解性97%以上(日本食品分析センター)

環境にやさしく新しい
油脂分解洗剤

『ジオクリーン』の特長は？

- ◆希釈タイプで経済性が高い(通常希釈10倍)
- ◆下水・排水に流せる
- ◆希釈する水を選ばない(軟水、硬水、海水、泥水でもOK)
- ◆アルコール・シンナーなどの有機溶剤を使うことなく洗剤できる(火気OK)
- ◆洗剤独特のヌルつきがない(界面活性剤の量が少ない)
- ◆水系洗剤のため、消防法上の備蓄制限はない(引火性は無し)

どのくらい油を分散するの？

- ◆自然界に生きている細菌が処理できる(超微粒子)まで小さく分散。
- ◆ひとたび分散された油分は、再付着しない。

乳化剤との違いは？

※従来の中和剤は

- ◆殆どが石油製品(石油独特の臭い)。
- ◆乳化(エマルジョン)という現象でなじませるだけ。
- ◆舗装をボロボロにする。
- ◆再凝縮するから、河川へ流せない。

二次汚染を引き起こし
環境に悪い

※ジオクリーンは、油の二次汚染を防ぐ。

- ◆完全な水系。
- ◆乳化ではなく分散。
- ◆舗装を守る。
- ◆河川へ流れても二次汚染を発生しない。

二次汚染を防止し
環境に優しい

ジオクリーンの主な納入先

- ガソリンスタンド
- 自動車整備工場・解体工場
- 精密機械製造工場
- 食品加工・製造工場
- ホテル・飲食店

使用実例

- 油流出事故
＝スーパー、パチンコ店等、大型駐車場の油漏れ処理対策
- 場内清掃
＝ガソリンスタンドピット室、他場内での床洗浄
＝整備工場、大手企業工場内床、飲食店床洗浄
- 油分離槽洗浄
＝整備工場、ガソリンスタンド内他
＝飲食店等の床洗浄

油処理の環境場所を選びません

もしもの！

- ・油流出事故に速やかに対応
- ・重油から軽油・植物油にもOK
加水分散でナノレベルまで微細化
- ・洗浄処理の排水も心配なく流せます
ABSやLASなどの有害な物質を含まないので
- ・手が荒れない！爪が割れない！
水系中和剤なので
- ・引火性がなく安全で備蓄ができる

中和剤(乳化剤)の殆どは、第三石油類の危険物扱い

※備蓄には消防署へのとどけが必要で。

散布すると水が乳白色になることから、河川や湖沼
管理者は散布を厳しく制限しています。

また、道路にまくと舗装が、ポロポロになってしまいます。

■従来の洗剤と『ジオクリーン』の違い

比較項目	従来の洗剤	ジオクリーン
油の物性	高分子状態を維持。 油の自然分解がしにくく、油が 腐敗し悪臭が発生しやすい。 スポンジや、タワシに油が 油が残る	微細化。 油が残らないため悪臭の 発生が抑えられる。 スポンジや、タワシに油が 残らない。
発泡性	大。 すすぎ時間や水量も大。	低泡性。 すすぎ時間や水量も少。
自然分解	難分解。	分解しやすい。
水素イオンの濃度	一般にアルカリ性	中性。
使用湯温	常温～高温	常温～60℃以下
臭い	一部香料入り。	無臭
着色料	一部着色料入り	無着色
界面活性剤	20～70%	10%以下。
人体への影響	肌荒れ、爪割れ。	無害。
施設への影響	排水管、樹、側溝でのつまり。	排水管、樹、側溝での つまり解消。

※流出油対策として使用する場合。

中和の状態	油分の再凝集がある。	油分の再凝集はない。
舗装・塗装面への影響	舗装面をポロポロにする。 塗装面を剥離させる。	水系であるために舗装や 塗装面を傷めない。
備蓄量	一定量以上の備蓄不可。 届出が必要。	届出不要。

※ナノメートル=1/1,000,000mm

バクテリアの餌となる大きさで、水の粒子は2～5ナノメートル

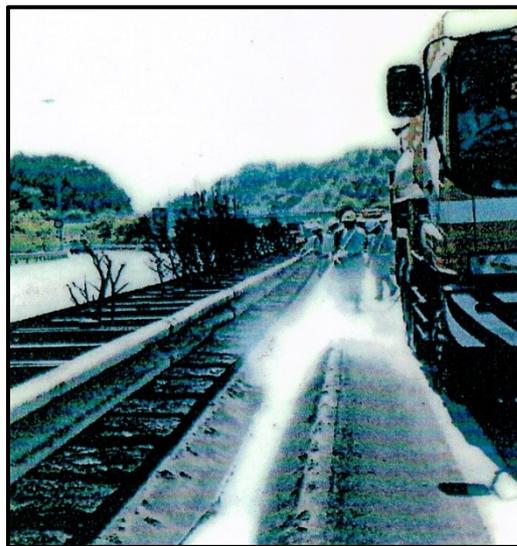
事故現場や

ジオクリーンの使用例！

このようにオイル流出事故が起きた場合、**油が**
短時間でアスファルトやコンクリートにしみ込みます。



これを



希釈した『**ジオクリーン**』を
使って洗浄するだけでOK！
処理後の廃液は、
流れていく間に微生物が、
水と二酸化炭素に
分解してくれるので、安心。
環境にも優しい！



※本剤を水または温水などで、油汚れの度合により、希釈(5~10倍)にして、ご使用下さい。

こんなところにも使われています...



工場内の床洗浄



飲食店の床洗浄



機械や工具洗浄